

No.	部局名	所属コード	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R5決算 (見込み額) 単位:千円
1	企画政策部	1510	都市経営室	「長崎×若者」推進費	共催	ながさき若者会議運営プロジェクト	若者から「選ばれるまち」にするため、「若者が楽しむことができる場」、「若者がチャレンジできる場」をつくる。	若者がチャレンジしたいアイデアや企画を引き出し、それを実現につなげるための検討を行い、若者のチャレンジを支援する。それにより、若者が楽しめ、活躍できるまちの実現ができる。	77
2	市民生活部	2322	人権男女共同参画室	啓発広報費(うちながさき女性・団体ネットワークにかかる部分)	共催	ながさき女性・団体ネットワーク	長崎市内の女性団体等で組織する「ながさき女性・団体ネットワーク」の会員及び市民に対して、男女共同参画に関する意識啓発のための講演会を実施。	ネットワークの会議等に市も参加し、市内の女性団体等との男女共同参画推進に向けた情報の共有が図られた。	0
3	市民生活部	2322 7011	人権男女共同参画室 生涯学習企画課	長崎市中人権問題講演会	共催	長崎市PTA連合会	市民への人権教育・啓発の取り組みとして、市民の人権意識の高揚と人権問題に対する正しい理解を深めるために講演会を実施している。なお、長崎市、長崎市教育局及び長崎市PTA連合会の三者による主催事業として実施している。	人権啓発の視点のみならず、学校や地域における人権教育の視点からも幅広い対象者に向けて実施しており、一定数の参加がなされている。	412
4	市民生活部	2324	文化振興課	ハンドベル教室	共催	長崎ハンドベルコミュニティ	長崎市が練習場所の確保と受講者募集の周知をし、長崎ハンドベルコミュニティが市民を対象に、ハンドベル教室を実施している。	知識や経験が豊富な講師が質の高い指導を行うことで、習熟度が高まり、卒業生が新たなハンドベルサークルを設立したり、既存のサークルに加入するなど、市民の自主的な文化活動の活性化につながっている。	0
5	市民生活部	2326	スポーツ振興課	市民体育・レクリエーション祭開催	共催	公益財団法人長崎市スポーツ協会 長崎市レクリエーション協議会 一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会	市民総参加のスポーツの祭典として、競技スポーツ(陸上競技ほか38種目)やレクリエーション種目を実施。	円滑な運営による行事の成功に加え、参加者からの意見を採り入れることで様々な分野における改善にも成功している。	37,797
6	市民生活部	2326	スポーツ振興課	長崎新春駅伝開催	共催	公益財団法人長崎市スポーツ協会	市民の健康づくりを目的とし、市スポーツ協会と共催により、長崎新春駅伝大会(一般、高校、中学、小学生の部)を実施。	本市や各加盟団体との連絡・協力体制が確立されており、実施予定の競技における準備から運営までを適切に実施することができた。	165
7	市民生活部	2386	消費者センター	長崎市暮らしの講座 夏休みこども消費者教室『SDGs★IHクッキング』	共催	九電ネクスト㈱長崎営業所	子どもたちに体験実習を通して賢い消費者としての第一歩を踏み出してもらうことを目的とし、専門の資格を持つ講師による「SDGs★IHクッキング」を協働で開催。	必要な設備がそろった会場の提供や、専門の講師による対応など、この事業については市単独での実施は大変困難。協働することで実施が可能となり、結果参加者にも大変ご好評をいただいた。	1
8	市民生活部	2386	消費者センター	長崎市暮らしの講座 夏休みこども消費者教室「電気をつくってみよう」	共催	九電産業㈱	子どもたちに体験実習を通して賢い消費者としての第一歩を踏み出してもらうことを目的とし、専門知識を持つ講師による「電気をつくってみよう」を協働で開催。	電気に関する実験道具の手配や専門的な知識を持つ講師による対応など、この事業については市単独での実施は大変困難。協働することで実施が可能となり、結果参加者にも大変ご好評をいただいた。	2
9	市民生活部	2386	消費者センター	暮らしの講座「賃貸トラブル防止セミナー」	共催	長崎県宅地建物取引業協会	引越シーズン前、専門家による賃貸物件の契約トラブルなどに関する講座を開催する。また、講演会終了後、個別相談会を実施する。	運営や市民への告知、また、経費の面においても、単独開催よりも効果的かつ効率的に開催できた。	0
10	市民生活部	2386	消費者センター	住宅無料相談会	共催	長崎県住宅リフォーム推進協議会 一般社団法人 長崎県建築士会	毎月第2土曜日に、消費者センター内会議室において、長崎県受託リフォーム推進協議会が派遣する一級・二級建築士や宅地建物取引士、土地家屋調査士など、建築に携わる女性が住宅建築やリフォームについて市民からの相談に応じる。	住宅の専門家が無料で相談に応じることは、市単独開催では困難。協働することで実施が可能となり、住まいについての市民の悩みについて、より具体的に対応できるようになった。	0
11	福祉部	3134	介護保険課	介護人材確保対策費	共催	長崎市老人福祉施設協議会	長崎市内在住の小学生を対象として、介護の体験学習を行い介護の仕事について学ぶとともに、介護従事者との交流を通して将来の介護職への就職に係る意識の醸成を図るもの。	小学生に介護について興味を持ってもらい、介護職を将来の進路の選択肢の一つとなるように意識の醸成を図ることで、介護人材の確保につながる。	43
12	市民健康部	3310	地域保健課	長崎市精神保健市民公開講座	共催	長崎県精神神経科診療所協会	市民を対象に、精神疾患に対する正しい知識を普及啓発することによりこころの健康の保持・増進を図ることを目的に、精神科医など専門職を講師として招き、全4回シリーズで講座を開催する。	地域の精神医療に携わる専門職と協働することにより、効果的に精神疾患に対する正しい知識を普及啓発することができるとともに自身のこころの健康の保持・増進につながる。	61
13	市民健康部	3310	地域保健課	自死遺族分かち合いの会	共催	特定非営利活動法人自死遺族支援ネットワーク	大切な方を自死(自殺)で亡くされた方を支援するために分かち合いの会を開催。	遺族同士の出会いの場を提供し、互いに語り合うことを通して、悲嘆や苦しみを分かち合い、精神的安定を図ることで、遺族の自殺を防止することにつながった。	0

No.	部局名	所属コード	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R5決算 (見込み額) 単位:千円
14	市民健康部	3318	健康づくり課	歯科口腔保健計画推進事業 「歯っぴいスマイルフェスティバル」	共催	一般社団法人長崎市歯科医師会	全国的に展開される「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)に一般社団法人長崎市歯科医師会が中心となって実施しているイベントに対し、共催団体として負担金を支出する。これは、市民への口腔衛生思想を普及・啓発するとともに、歯科関係者と市民との交流の場を設けることにより、市民の健康の保持増進を図っている。	歯科に関連する団体が協力し、参加者が楽しく学べるように工夫したイベントを開催したことで、市民に対し口腔衛生思想を普及・啓発することができた。 【H28年度参加者】2,300人 【H29年度参加者】2,400人 【H30年度参加者】2,100人 【R元年度参加者】2,500人 【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【R3年度】新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【R4年度】実施パネル展示の為参加者数未把握	300
15	市民健康部	3318	健康づくり課	元気がいちばんたい！健康まつり	共催	長崎市医師会 長崎市臨床内科医会 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、 長崎市薬剤師会、 長崎県栄養士会長崎支部、 長崎県理学療法士協会、 長崎大学医学部保健学科、 世界禁煙デーinながさき実行委員会、 長崎市食生活改善推進協議会、 長崎県健康事業団、 ラジオ体操元氣塾、 NPO法人ヒンクリボンながさき	地域における保健医療・職域等の健康づくり団体との協働により、市民を対象に、がんをはじめとする生活習慣病の予防と重症化防止のための健康づくりについて、普及啓発を行い生活習慣の見直しと自主的な健康づくりに対する意識向上を図る。生活習慣・健康チェック、がん検診・特定健診の受診勧奨、がん検診の実施、たばこについての啓発・禁煙相談など、各種健康ブースの設置。	地域における保健医療・職域等の健康づくり団体との協働により、市民を対象に生活習慣病の予防と重症化防止のための健康づくりについての普及啓発、生活習慣の見直しと検診(健診)受診を含めた、自主的な健康づくりに対する意識向上について、各団体の力を借りて健康づくりの輪を広げている。 【R元年度】:各健康づくりコーナーの来場者数:1,567人 協働した団体数:17団体 【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【R3年度】新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【R4年度】各健康づくりコーナーの来場者数:643人 協働した団体数:12団体 【R5年度】各健康づくりコーナーの来場者数:実368人 協働した団体数:17団体	157
16	市民健康部	3318	健康づくり課	長崎市慢性腎臓病(CKD)予防対策「病診連携医」研修会	共催	長崎市医師会	慢性腎臓病(CKD)予防対策として、かかりつけ医と腎専門医の医療連携により、CKD患者の早期発見、早期治療を推進し、重症化防止を図るためのしくみを整備し、長崎市医師会と共催でかかりつけ医等への研修会を実施している。	平成25年度からCKD病診連携システムを稼働するにあたり、かかりつけ医療機関を対象に研修会を開催している。企画は市が行い、会場の提供および医療機関への周知、参加者の取りまとめについて長崎市医師会の協力を得ながら運営している。 【平成30年度】H31.3.22開催、53名のかかりつけ医が参加 【令和元～5年度】中止	0
17	市民健康部	3338	動物愛護管理センター	動物愛護フェスタ	共催	公益社団法人長崎県獣医師会 長崎支部	毎年9月20日から9月26日までの動物愛護週間行事として、例年、長崎県、長崎市、公益社団法人長崎県獣医師会長崎支部の主催、市内の動物愛護団体の参加協力、報道機関による後援、報道機関のうち1社のアナウンサーによる司会進行協力により、動物愛護思想の普及及び啓発を図るため、動物愛護週間期間中に動物愛護フェスタを開催。また、例年、市内の小学校にチラシやポスターの配布を行い動物愛護に関する普及啓発活動を行っている。 令和5年度は9月23日出島ワープ横三角広場にて、ながさき動物愛護フェスタを開催した。長崎Life of Animal、一般社団法人長崎ねこの会、一般社団法人長崎さくらねこの会、長崎県愛玩動物協会、社会福祉法人長崎市社会福祉協議会長崎の町ねこ調査隊塾の参加協力のもと、保護犬・保護猫の譲渡会、チャリティーフリーマーケット、O×クイズ、犬のファッションショー、デジマードショー、いぬねこモチーフの小物作成、福祉相談、消しゴムスタンプを押したオリジナルはがき作成や、啓発資料等の展示等を行った。	動物愛護及び管理に関する関係機関及び動物愛護団体等との協働によりイベントを開催。 マスコミの報道等による相乗効果で、動物愛護に関する市民の意識向上が図られている。	71
18	市民健康部	3338	動物愛護管理センター	狂犬病予防集合注射	共催	公益社団法人長崎県獣医師会	狂犬病予防法に規定する狂犬病予防注射について、市内62か所の注射会場を設け、獣医師と共に巡回し、集合注射を実施する。	県獣医師会との協働により、注射会場で予防注射と注射済票の交付が同時に受けられるため、遠くの動物病院へ飼い犬を連れて行く負担が減り、法定義務である狂犬病予防注射の接種率の維持に寄与している。	3,136
19	こども部	3442	こどもみらい課	長崎市青少年育成協議会活動事例発表会	共催	長崎市青少年育成連絡協議会	青少年育成協議会及び子ども会活動の日頃の成果を発表することで、青少年育成活動の活性化を図る。企画及び実施について、長崎市青少年育成連絡協議会と共催。	地域の青少年育成協議会及び子ども会活動の日頃の活動について発表する機会を設けたことで、地域の育成協議会活動の情報を共有することができた。また、青少年健全育成活動の活性化につなげることができた。	60

No.	部局名	所属コード	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R5決算 (見込み額) 単位:千円
20	こども部	3415	子育てサポート課	地域親子のふれあい支援事業	共催	長崎市民生委員児童委員協議会 地域の保育所	市内の公民館・ふれあいセンター等を会場に、未就学児とその保護者を対象とした「お遊び教室」を開催し、親子遊びや保護者同士の交流を促すとともに、保護者の育児負担の軽減を図る。	保育士だけでなく、地域の民生委員・児童委員等子育て経験豊富な方々が参加することで、保護者の育児負担の軽減を図ることができた。	6,056
21	環境部	3711	環境政策課	親子で省エネ実験・施設見学会	共催	九州電力株式会社長崎営業所	九州電力株式会社長崎営業所と共同で、小学生及びその保護者を対象にエネルギーや省エネに関する学習会を開催九州電力株式会社長崎営業所による座学・実験等長崎市が環境施設見学	電気や省エネについて専門的な知識を有する九州電力株式会社長崎営業所と共同して講座を開くことにより、参加者の環境問題に対する理解の向上や意識の醸成をより効果的に図ることができる。	7
22	経済産業部	4114	新産業推進課、廃棄物対策課	フードドライブ	共催	メットライフ生命保険株式会社	家庭などで食べきれずに余っている食品や食材を集めて、必要とする人々に無償で提供する社会福祉活動。	フードロスの削減やSDGsに対する意識の向上につながっている。	0
23	経済産業部	4114	新産業推進課	Waffle Campホームタウン in 長崎市	共催	メットライフ生命保険株式会社、特定非営利活動法人 Waffle	IT分野のジェンダーギャップ解消を図るため、女子中高生向けの1日プログラミング教育(Waffle Camp)を行う。	女子中高生のプログラミングや理系キャリア関心度の向上が期待される。	0
24	経済産業部	4118	商業振興課	市設中央小売市場の活性化に向けた実証事業(つきまち横丁)	共催	長崎文化放送、長崎県、長崎つきまち(株)、Fデザイン長崎(株)、長崎都市経営戦略推進会議、NAIGAICREWなど	中央小売市場の空き区画の利活用のため、長崎文化放送(株)が行っている「長崎横丁プロジェクト」と連携して実証事業(つきまち横丁)を行い、常設での店舗出店の可能性を検討するもの。	常設化が実現すれば、民間のノウハウを活用して、中央小売市場の活性化、ひいては築町全体の活性化につながる。	0
25	経済産業部	4118	商業振興課	市設中央小売市場の活性化に向けた実証事業(Be_Liquid)	共催	Pionier(大学生の有志の団体)、十八親和銀行、長崎文化放送、長崎つきまち(株)など	大学生の有志の団体である「Pionier」と連携して実証事業(Be_Liquid)を行い、中央小売市場の空き区画の利活用の可能性を検討するもの。	空き区画の利活用の可能性を探ることで、中央小売市場の活性化、ひいては築町全体の活性化につながる。	0
26	水産農林部	4611	水産農林政策課	長崎「食」の晩餐会	共催	NPO法人 長崎の食文化を推進する会	長崎ならではの食材の活用及びPR並びに新たな食文化の創造を目的として、NPO法人長崎の食文化を推進する会と連携し、季節の旬の食材を使用したフランス料理を市民に親しんでいただく「長崎「食」の晩餐会」を実施する。 《使用する食材》 【9月】「長崎和牛・出島ばらいろ」 【11月】「長崎和牛・出島ばらいろ」	NPOと連携し、市民や観光客に長崎ならではの食材の魅力を伝えることができた。	133
27	水産農林部	4618	水産振興課	鯨のまち長崎PR事業	共催	長崎くじら食文化を守る会 一般財団法人日本鯨類研究所	長崎に古くからある「鯨食文化」を次の世代へ継承することを目的に、長崎くじら食文化を守る会と連携して、「親子で学ぶ！くじら食文化教室」を実施した。 【実施日】 「親子で学ぶくじら食文化教室」:令和4年8月20日(土)	長崎くじら食文化を守る会と連携し、子ども及び親子向けのイベントを行うことで、広く鯨食文化の継承を行った。	91
28	水産農林部	4618	水産振興課	旬の魚イベント拡大支援費	共催	各漁協	市内各地の直売所・朝市等で開催される旬の魚をメインとした直売イベントや、地元の料理店で旬の魚の料理メニューを一定期間提供する旬の魚料理フェア、海の体験イベントの開催を支援することで長崎の魚の認知度向上及び消費拡大、魚価の安定、地域の活性化を図る。	イベントの広報にかかる費用を助成することで、イベントの周知が図られ、長崎の魚の知名度向上、消費拡大につながっている。	1,095
29	中央総合事務所	5358	茂木地域センター	茂木クリーン作戦	共催	茂木愛創会	茂木に住んでいる人、働いている人の仲間づくりと茂木を美しくきれいなまちにすることを目的に清掃活動を行う。地域で働いている人や住民に呼びかけ、清掃活動を開始し、団体を立ち上げたもの。	・地域団体や地域住民の親睦と融和が図られた。 ・住民参加による郷土愛の醸成が高まった。 ・ゴミが減り、草刈りが適正に行われることにより環境美化が図られた。	0
30	北総合事務所	5710	北総合事務所地域福祉課	琴海・三重・外海ふれあいフェスタ	共催	琴海・三重・外海ふれあいフェスタ実行委員会	北総合事務所管内の文化・芸能の発表の場を設け、3地区の交流促進と活性化を図る。 (R5実績) R6.1.21開催 参加人数約2,000人	保育園、幼稚園、小中学校、老人施設、公民館自主活動(生涯学習)グループの作品が一同に展示されたことによって、3地区の住民が見学され、出展者同士の交流も図られた。 また、コロナ禍により練習や発表の場が減少していたが、この発表の場が設けられたことで、芸能グループの活動が活発になり、伝統芸能の継続・維持にもなった。	700

No.	部局名	所属コード	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R5決算 (見込み額) 単位:千円
31	南総合事務所	5610	南総合事務所地域福祉課	第10回ツール・ド・ちゃんぽん in長崎のもぎき恐竜パーク	共催	ツール・ド・ちゃんぽん実行委員会	R3年までは伊王島を発着としていたが、R4年からは恐竜パークを発着とし、新たに100kmを超えるコースも加えた4つのコースを設け、約600名の参加者を迎えて野母崎、三和、深堀、香焼、伊王島、土井首の南部地域を自転車で周遊する。休憩場所であるエイドステーションでは、県内の特産品をご賞味いただき、地域の風景を楽しみながら、自然あふれる南部地域の魅力を伝え、多くの参加者を誘致することで、地域の活性化を促す。	地域の団体などもエイドステーションの運営など協力をいただくなど、多くのボランティアスタッフが協力し無事に大会を運営できた。また、美しい海を望むコースをサイクリングすることで、参加者に南部地域の魅力を伝え、地域の活性化に寄与することができた。	0
32	消防局	6014	予防課	市民防火のつどい・婦人防火クラブ長崎地区大会	共催	長崎市婦人防火クラブ連絡協議会	毎年11月頃、消防局や長崎市婦人防火クラブ連絡協議会などとの共催により、婦人防火クラブ員をはじめ、幼年消防クラブや自主防災組織員など約1,000名が一堂に会し開催している。安全功労者総務大臣表彰の伝達や永年にわたり各地区の婦人防火クラブ会長として御活躍された方々への表彰を行うとともに、部外講師を招いての講演会や幼年消防クラブ員、婦人防火クラブ員が披露するアトラクションなどを実施している。	婦人防火クラブ員や地域で防火防災に携わる方など約1,000名が参加し、防火意識の啓発と会員相互の親睦を図ることができる。本防火のつどいを開催することにより、各クラブ員の自主性と連帯意識の向上につながり、ひいては「自分達のまちは自分達で守る」という積極的な防火防災活動につながっている。	149
33	選挙管理委員会事務局	7710	選挙管理委員会事務局	明るい選挙推進事業～グラウンド・ゴルフ／ペタンク大会	共催	長崎市老人クラブ連合会	明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図るため長崎市老人クラブ連合会などと共同で開催。	市内全域の各老人クラブの会員達がスポーツを通じて交流を深め、さらには大会を通じて選挙への投票呼びかけを行うことで、健康増進と投票率向上の効果が期待できる。	47
					件数				33
					事業費総計				50,560